

NEWS Club O.A

第28号

身近な人が離婚問題で悩んでいたら

人形町恵和法律事務所

いまむら めぐみ
弁護士 今村 恵



2024年11月25日発行

特集：身近な人が離婚問題で悩んでいたら
人形町恵和法律事務所 弁護士 今村 恵

人生において「離婚」という選択肢は、当事者にとっても周囲の人々にとっても、大きな感情的負担を伴います。しかし、適切な知識やサポートがあれば、離婚問題を前向きに捉え、新たな生活への第一歩を踏み出すことができます。本記事では、離婚の種類、法的な側面、弁護士への相談の重要性について詳しく解説します。

1. 離婚の種類

離婚には大きく分けて2つの方法があります。

- 裁判所を使わない離婚（協議離婚）

夫婦間で話し合い、合意に基づいて進める方法です。裁判所を介さないため、手続きが簡素で費用を抑えられる点が特徴です。ただし、合意内容が適切か、専門家のアドバイスを受けることが推奨されます。

- 裁判所を使う離婚

問題が解決しない場合、裁判所を介して調停や審判、判決などの形で進めます。この方法は、公平性が確保される一方で、時間や費用がかかる場合があります。

それぞれの離婚には適した状況や利点があるため、専門家と相談しながら進めることが重要です。

2. 離婚を考えるきっかけ

離婚を検討する理由としては以下のようなケースが挙げられます。

1. 性格の不一致
2. 配偶者による暴力や精神的虐待
3. 家庭を顧みない態度
4. 経済的な問題（浪費、生活費の未提供など）

これらは、家庭裁判所での調停申立書に記載されることが多い典型的な離婚原因です。一方で、夫婦間の問題が第三者の介入によって解決する場合もあるため、すぐに離婚を決断せず、まずは問題を整理することが大切です。

3. 法定離婚事由と決定事項

民法では、以下のような理由に基づいて離婚が認められます。

- 配偶者の不貞行為
- 悪意の遺棄（家庭の放棄や生活費の提供拒否など）
- 配偶者の生死が3年以上不明
- 婚姻継続が困難な重大な理由（DVや浪費、重度の病気など）

4. 離婚に際しては、次のような重要な決定事項があります。

- 親権・養育費：子どもの生活や教育費をどう負担するかを明確にする必要があります。
- 財産分与：共有財産の適切な分割を行います。
- 慰謝料：精神的苦痛を受けた側が請求することが可能です。

5. 弁護士への相談のすすめ

離婚問題は感情的だけでなく、法的な複雑さも伴うため、弁護士への相談は重要です。弁護士は次のような場面で役立ちます。

1. 合意内容の確認や法的手続きの助言
2. 配偶者との交渉や調停への同行
3. クライアントの利益を最大限に守る法的サポート

★読者へのメッセージ

離婚は簡単に決断できるものではありません。しかし、適切なサポートと準備があれば、新たなスタートへの道を開くことができます。もし周囲に離婚問題で悩んでいる方がいれば、専門家への相談を早めに勧めてみてください。それが、当事者にとって最善の解決への第一歩となるはずです。

★今村先生と無料相談が受けられます！

本記事に読まれた方で、「今村先生に相談したい！」という方は、直接無料相談が可能です！もちろん、離婚以外の事もお相談も可能です。

まずは、お気軽にClub OA事務局までお問合せください。

info@club-oa.com

今村先生 Instagram

